



入園・進級おめでとうございます

年度末には休園と希望保育のご協力をいただきありがとうございました。今日から新年度がスタートしました。先日卒園児を送り少し寂しくなった保育園でしたが、しずくぐみに可愛い赤ちゃんたちが入園し、また保育園が賑やかになりました。進級した子どもたちは、新しいクラスをとても喜びながらも、「〇〇ぐみおめでとう！」と声をかけると少し照れつつも誇らしそうな笑顔が印象的でした。一つ大きくなるということは、子どもたちにとって本当にうれしいことなんだと、あらためて感じたところです。

年度末にお知らせしたとおり、今年度は登降園の準備等が今までと違うやり方になりました。いつも寛容に受け入れ、ご協力をいただきありがとうございます。子どもたちみんなが、これから始まる新しい環境の中で心も体も健康な毎日を送ることができるよう、全職員で応援していきたいと思っております。そして、保護者の皆さまと連携し、ともに子どもたちの成長を見守りたいと思っています。今年度も、どうぞよろしく願いいたします。



- ★欠席・遅刻の連絡は今年度より**8:30まで**にお願いします。
- ★土曜保育については、前の月の15日までに「土曜保育希望届」を提出された

- ★持ち物すべてにハッキリ大きく記名してください。
- ★園児一人当たり、ティッシュ1箱と雑巾を2枚を持ってきてください。
- ★集金日は毎月25日です。休日と重なる場合は休み前の開園日とさせていただきます。集金の内容については、集金袋をご確認ください。
- ★保護者さんへのお知らせは、直接または玄関ホワイトボード・おたより・メールで行います。その都度ご確認ください。
- ★**児童簿・児童調査表**について
 - ・児童簿について…引越越しや職場の変更などがある方は赤字で訂正をお願いします。
 - ・児童調査票について…新しい用紙に現在の状況を書いてご提出ください。

4月の予定

- 1日(月) お集まりの会
- 2週目の天気の良い日
- お花見給食(たいよう・つき)
- 11日(木) お弁当の日
- 15日(月) 身体測定の日
- 17日(水) 英語
- 18日(木) ひかりクリーンデー
- 19日(水) 誕生会&こいのぼり初泳ぎ会
- 20日(木) 保護者会総会・クラス懇談会
- 23日(火) 耳鼻科検診(たいよう・つき)
- 24日(水) 1日保育士(ほし)
- 25日(木)～26日(金)
 - 図書貸出日(たいよう・つき)
- 25日(木) 避難訓練・集金日
- 26日(金) 一日保育士(つき)

- 5月の行事をお伝えします。
 - ・8日(水)～10日(金) ほしぐみ面談
 - ・17日(金) 一日保育士(そら)
 - ・21日(火)～24日(金) つきぐみ個人懇談
 - ・31日(金) 一日保育士(にじ)

※保護者さんの参加される行事につきましては、後日おたよりを配付しますので詳細をご確認ください。

○新年度になりましたのでメールのクラス名を変更しています。新入園児さんは登録してください。

5日(金)12:00 にテストメールを流します。既読チェックはお忘れのないようにお願いします。届かない方はお知らせください。

桜の花がちらほら咲きはじめ、あら～春になったなど実感する今日です。春は出発の時、今日は新しい入園のお友だちを迎え入れて、新たな1年のスタートだなど感じた1日でした。

親というものは何歳になっても子どもに育てられ子どもに人生の勉強をさせてもらっているなと思います。

さて、今日は教育評論家の親野智可等(本名:杉山桂一著『親の言葉100』)より抜粋して子育てのヒントをお伝えします。

スマホを片手に「うんうん」と子どもの話を聞いていませんか？子どもの話を聞くのについついやってしまうのがスマホをいじりながらの「ながら聞き」です。これだと子どもは「適当にあしらわれている」と感じざるを得ません。そんなに長い時間がかかる訳でもないので正対して子どもの話をしっかり聞いてあげましょう。親子の雑談は子

どもの心と頭にとって栄養満点です。「〇〇くんとね、〇〇したよ～」と話をすることで、子どもはストレスを解消させたり、記憶を定着させたり、表現力を育成することになります。また、親子で話すことにより自分の体験を整理

できて、子どもの人間力アップにもなるのです。脳科学によると「ながら聞き」をすると、コルチゾールというホルモンが過剰に分泌して、ストレス増加・精神疲労につながるということです。「～ながら」は、お互いの心や体にとって良くないことなんですね。子どもの話は手を止めてしっかり聞き共感してあげましょう。

～風邪を引くたびに強くなる～

生まれてしばらくは、赤ちゃんはママからもらった抗体に守られています。でも、その抗体の寿命は数か月です。初めての誕生日を迎える前にはなくなってしまう。赤ちゃんはウィルスや細菌と闘う力が強くありません。

集団生活を始めると、保護者には悪夢のような日々が待ち構えています。風邪が治って保育所に預けるとすぐに別の風邪をもらってまた休み。この繰り返しです。だから初めは満足に保育園に預けられないことが多いんです。仕事を休みづらい中、パパママは本当に頑張っておられます。でも大丈夫です。何度も風邪を引いていくうちに、いろいろな抗体を作れるようになった子どもは少しずつ病原菌と闘う力がアップしていきます。3歳を過ぎればほとんど休まなくなります。それまで、子どもの成長を待ちましょう。

(園長 田中:筆)